# 第 2 章　地域の概況及び地域特性

# 第２章　地域の概況及び地域特性

## 2.1　調査対象地域等の設定

計画区域及びその周辺における自然的社会的状況に関する情報等を収集し、当該地域の地域特性の把握に努めました。

自然的社会的状況に関する情報等の収集は、図2.1-1に示すとおり、計画区域を中心とした南北約3.9km、東西約3.4kmの区域（以下「調査区域」といいます。）を対象として行うことを基本としました。

統計データの情報収集に関しては、神奈川区、西区、保土ケ谷区、中区及び南区の合計５区（以下「調査対象地域」といいます。）を対象としました。




図2.1-1　調査対象地域等の位置

## 2.2　地域の概況

### 2.2.1　気象の状況

横浜地方気象台（横浜市中区山手町、図2.2-2参照）で観測された令和５年の気象状況は表2.2-1に、風配図は図2.2-1に示すとおりです。

令和５年の年平均気温は18.0℃、平均相対湿度は67％、平均風速は3.6m/s、最多風向は北、降水総量は1,377.0㎜となっています。また、風向出現頻度は北が最も高く、次いで、南南西となっています。

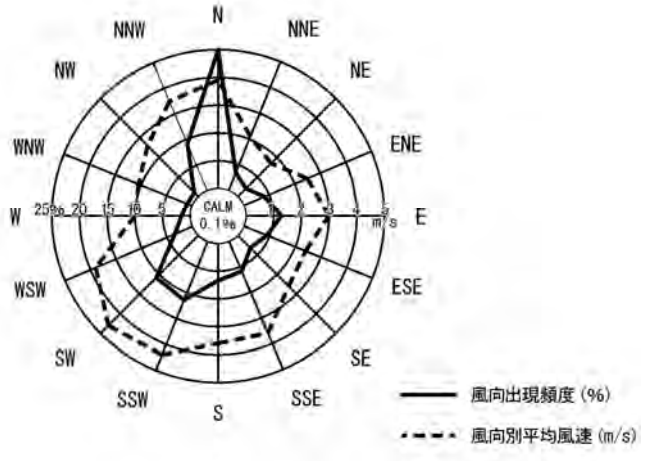
**表2.2-1　気象の状況（令和５年：横浜地方気象台）**

| 項目 | 年間 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平均気温（℃） | 18.0 | 6.4 | 7.9 | 13.2 | 16.6 | 19.0 | 23.2 | 28.2 | 29.1 | 26.9 | 19.5 | 15.2 | 10.2 |
| 最高気温（℃） | 22.2 | 10.2 | 11.8 | 17.5 | 21.0 | 23.4 | 27.2 | 32.9 | 33.7 | 30.9 | 23.6 | 19.3 | 14.6 |
| 最低気温（℃） | 14.6 | 3.0 | 4.1 | 9.6 | 13.0 | 15.5 | 20.1 | 25.0 | 26.3 | 24.3 | 16.0 | 11.5 | 6.6 |
| 平均相対湿度（%） | 67 | 54 | 53 | 68 | 61 | 71 | 79 | 73 | 78 | 78 | 64 | 64 | 56 |
| 平均風速（m/s） | 3.6 | 3.3 | 4.2 | 3.5 | 4.3 | 3.7 | 2.9 | 3.8 | 3.5 | 3.4 | 3.3 | 3.7 | 3.1 |
| 最多風向 | 北) | 北 | 北 | 北 | 北 | 北 | 南南西) | 南西 | 南南西 | 南南西 | 北 | 北 | 北) |
| 日照時間（h） | 2,410.0 | 191.7 | 171.9 | 169.4 | 204.9 | 208.0 | 149.0 | 278.0 | 262.8 | 185.5 | 210.6 | 173.8 | 204.4 |
| 日照率（%） | 54 | 62 | 57 | 46 | 52 | 48 | 34 | 63 | 63 | 50 | 60 | 56 | 68 |
| 降水総量（㎜） | 1,377.0 | 16.5 | 41.0 | 140.0 | 95.0 | 220.5 | 333.0 | 47.0 | 110.0 | 148.5 | 134.5 | 57.5 | 33.5 |

注1)表中の「)」は観測結果にやや疑問がある、または統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値です。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

注2)風速計の高さは地上高19.8m（海面上39m）です。

資料：「横浜市統計書[web 版]」（令和６年 12 月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）




注）風速 0.2m/s 以下を静穏としています。

資料：「過去の気象データ検索」（令和６年 12 月調べ、気象庁ホームページ）

**図2.2-1　風配図（令和５年：横浜地方気象台）**




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

計画区域

区界

横浜地方気象台

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

図2.2-2　横浜地方気象台の位置

### 2.2.2 地形、地質、地盤の状況

#### (1) 地形

調査区域の地形の状況は図2.2-3に、横浜港沿岸部の埋立の変遷は図2.2-4に示すとおりです。

計画区域及びその周辺は、1859～1889年の幕末から明治中期にかけて埋立てられた土地となっており、地形は旧水部に分類されます。また、計画区域東側約100ｍには三角州・海岸低地が分布しています。

#### (2) 地質

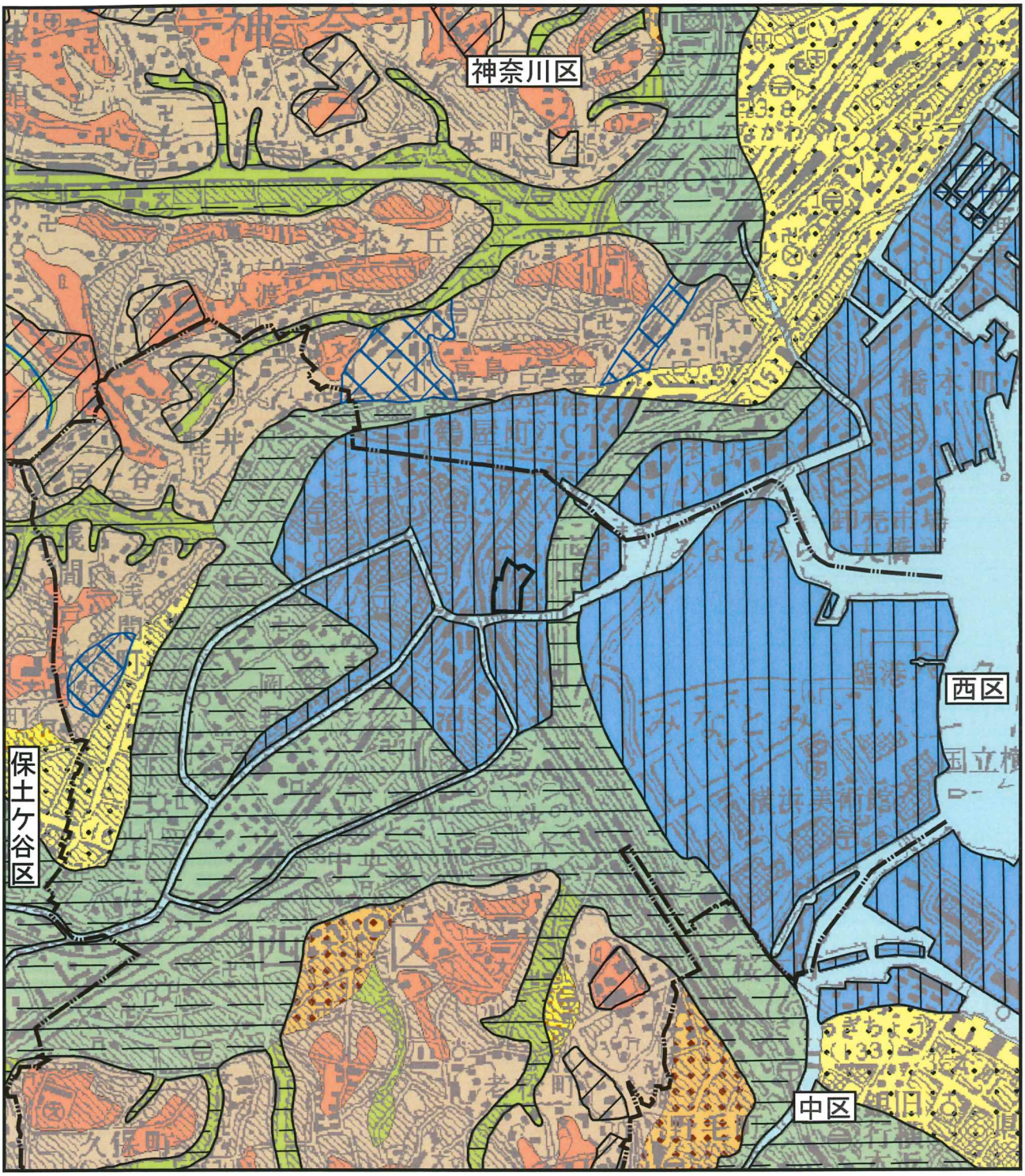
調査区域の表層地質の状況は、図2.2-5に示すとおりです。

計画区域及びその周辺の地質は埋土となっており、計画区域北側約400ｍには自然堤防及び砂洲堆積物が分布しています。

#### (3) 地盤・土壌

調査区域の土壌の状況は図2.2-6に、軟弱地盤の分布状況は図2.2-7に示すとおりです。

計画区域及びその周辺は人工改変底地土（市街地）に分類されます。また、計画区域の軟弱地盤の層厚は主に30～40ｍで、軟弱地盤の厚い地域となっています。




凡　例

計画区域　　区界

人工地形分類

宅地等
盛土地
埋立地
切土地

自然地形分類

山地斜面等
麓屑面及び崖錐
砂礫台地（完新世段丘）
ローム台地（更新世段丘）
谷底低地
三角州・海岸低地
砂州・砂堆（礫州・礫堆）
現水部
旧水部

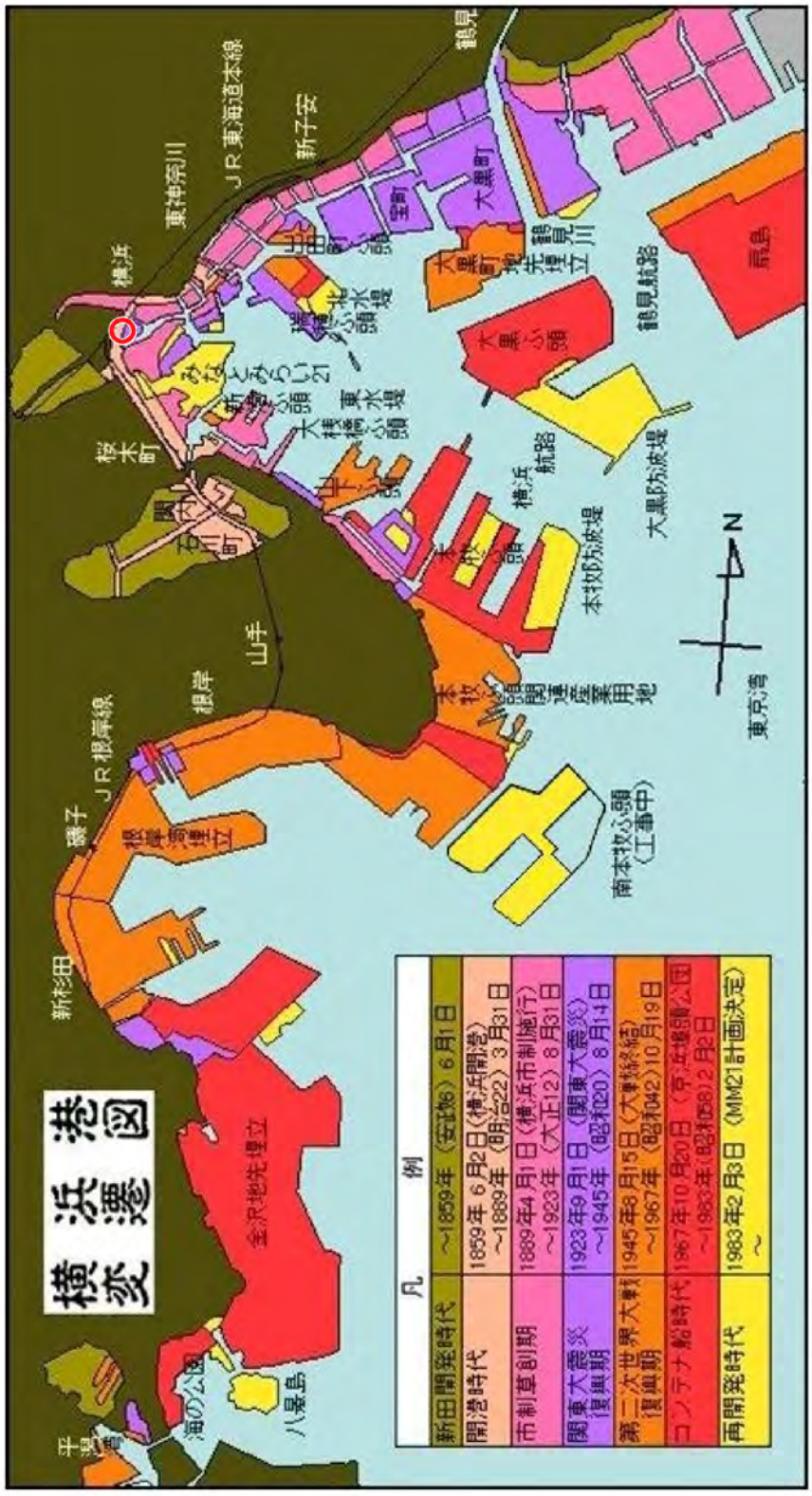
資料：「国土調査（土地分類調査・水調査）土地履歴、自然地形分類、横浜、平成22年度調査」
（令和６年12月調べ、国土交通省ホームページ）

N

S＝1／20,000

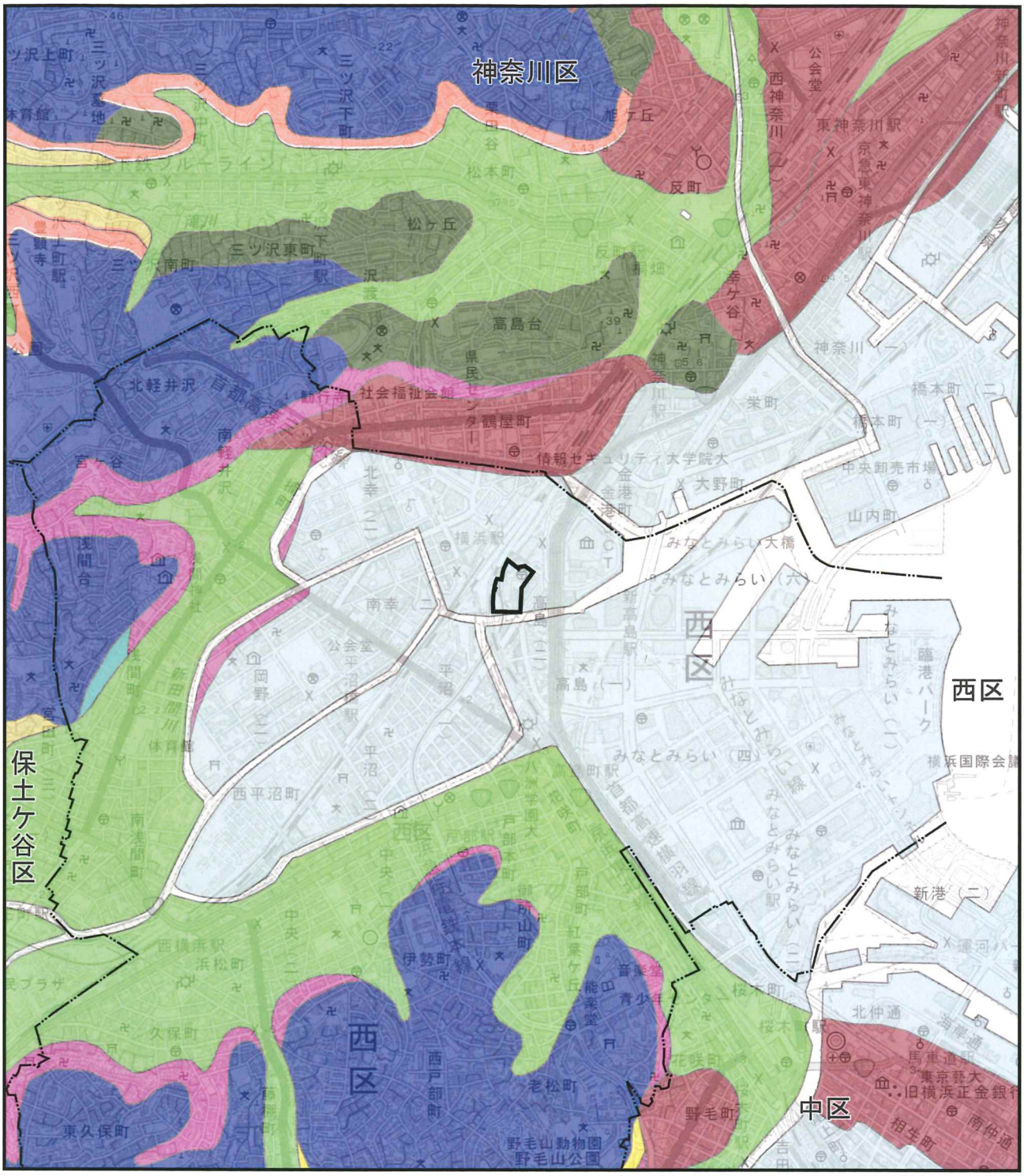
0　200　400　600m

図2.2-3　地形分類図




資料：「横浜港変遷図」（令和６年 12 月調べ、横浜市港湾局ホームページ）

**図2.2-4　計画区域及びその周辺（横浜港沿岸部）の埋立の変遷**




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- 低湿地堆積物
- 自然堤防及び砂洲堆積物
- 武蔵野ローム・武蔵野礫層
- 立川ローム層・立川礫層
- 相模層群　早田ローム層・鶴見層・舞岡ローム層・舞岡層
- 相模層群　土橋・土屋ローム層・戸塚層・寺尾層
- 相模原群　平戸ローム層・屏風ヶ浦層
- 相模原群　下末吉ローム層・下末吉層
- 上総層群　上墨川層
- 埋土

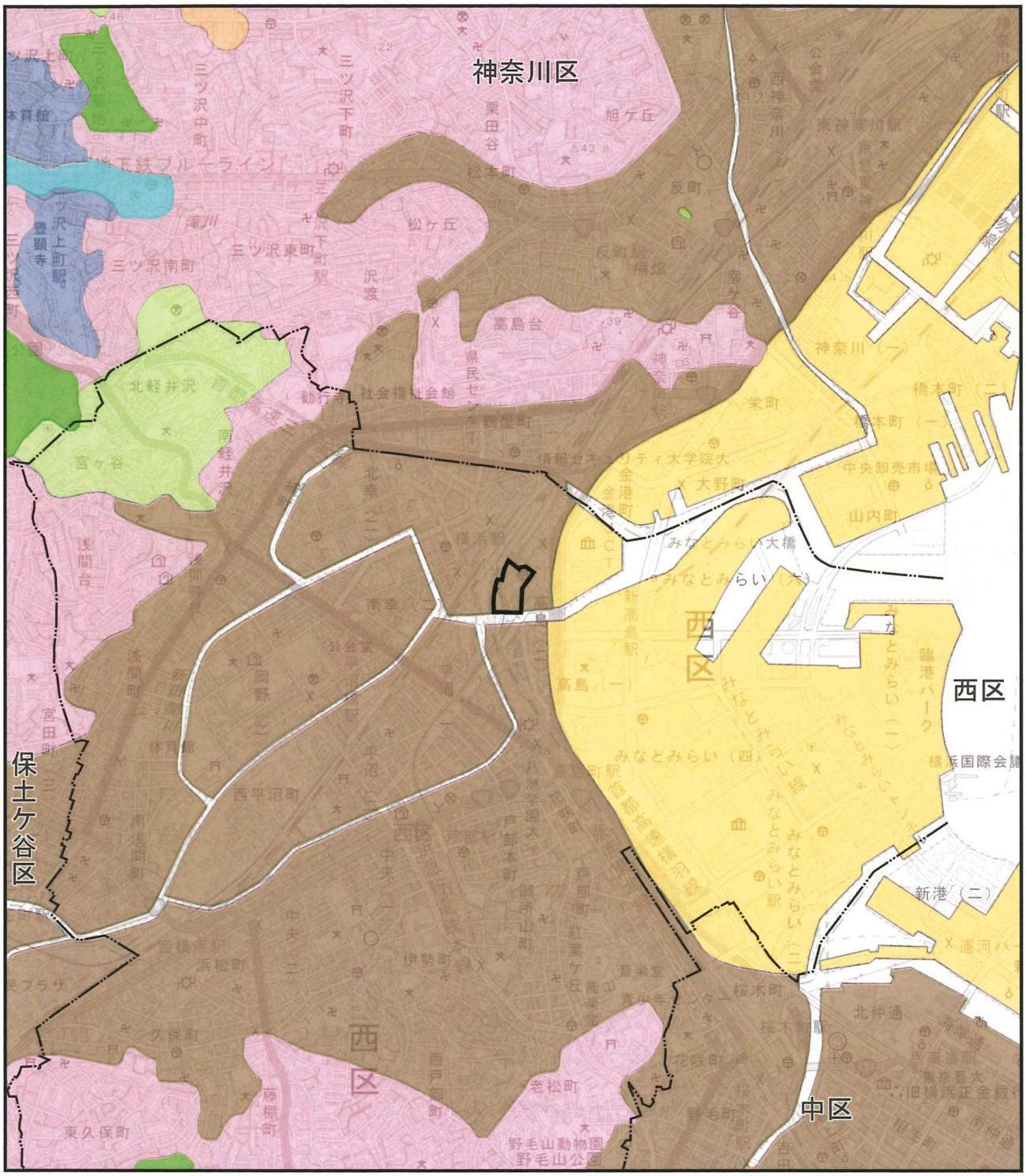
資料：「国土調査（土地分類調査・水調査）５万分の１土地分類基本調査、土壌図、横浜、東京西南部」（令和６年12月調べ、国土交通省ホームページ）

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

図2.2-5　表層地質図




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- 人工改変低地土（元水田）
- 人工改変低地土（市街地）
- 人工改変低地土（公園等）
- 人工改変低地土（その他）
- 表層多腐植質黒ボク土
- 厚層多腐植質黒ボク土
- 大規模造成地
- 埋立地

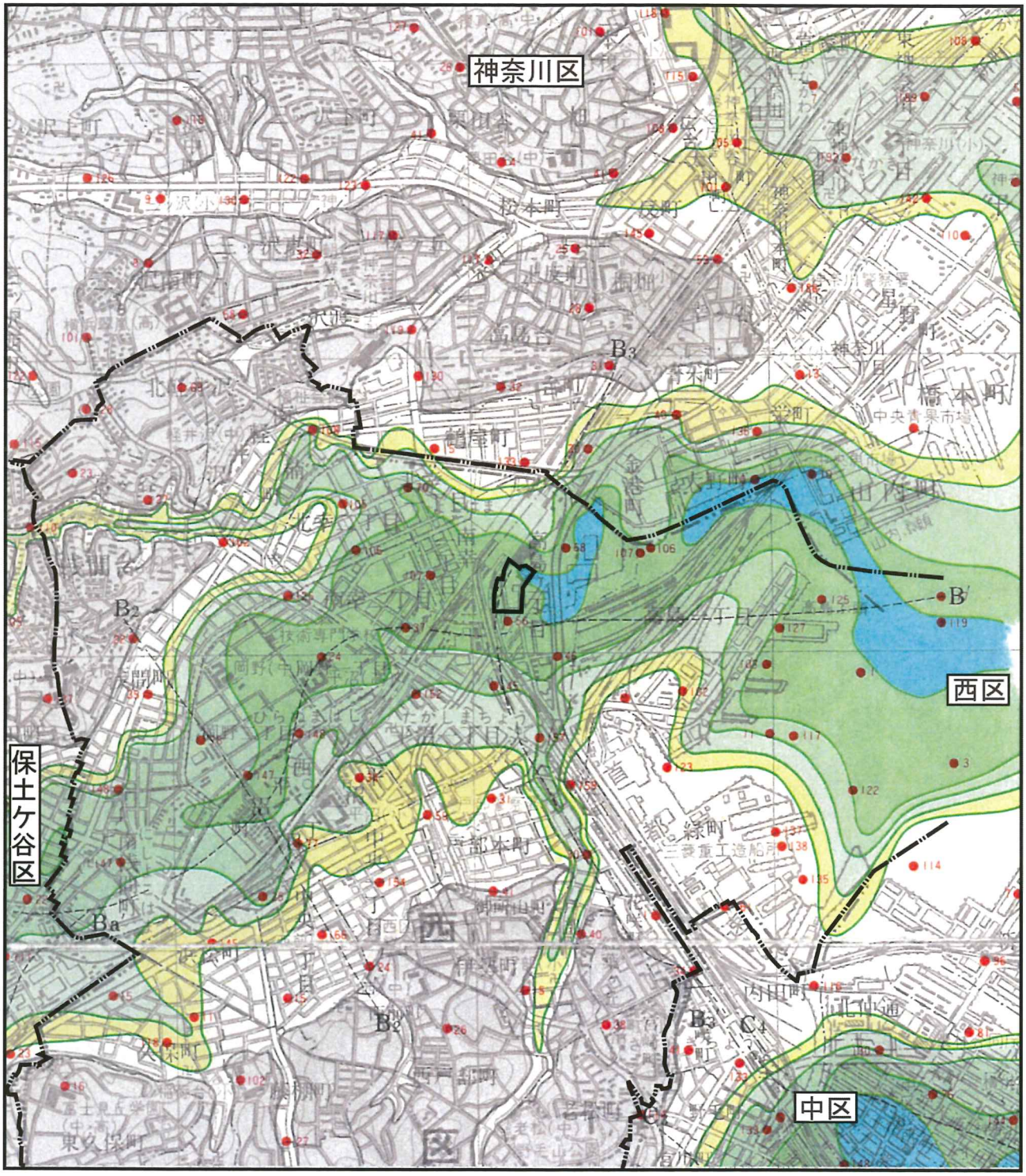
資料：「国土調査（土地分類調査・水調査）5万分の1土地分類基本調査、土壌図、横浜、東京西南部」（令和６年12月調べ、国土交通省ホームページ）

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

図2.2-6　土壌図




凡　例

- 計画区域
- 区界

（軟弱地盤の層厚）

| | | |
|---|---|---|
| 0～5m | 20～30m | 丘陵地及び台地面 |
| 5～10m | 30～40m | |
| 10～20m | 40～50m | |

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

資料：「横浜市地盤図集」（平成８年３月、横浜市）

図2.2-7　軟弱地盤図

### 2.2.3 水循環の状況

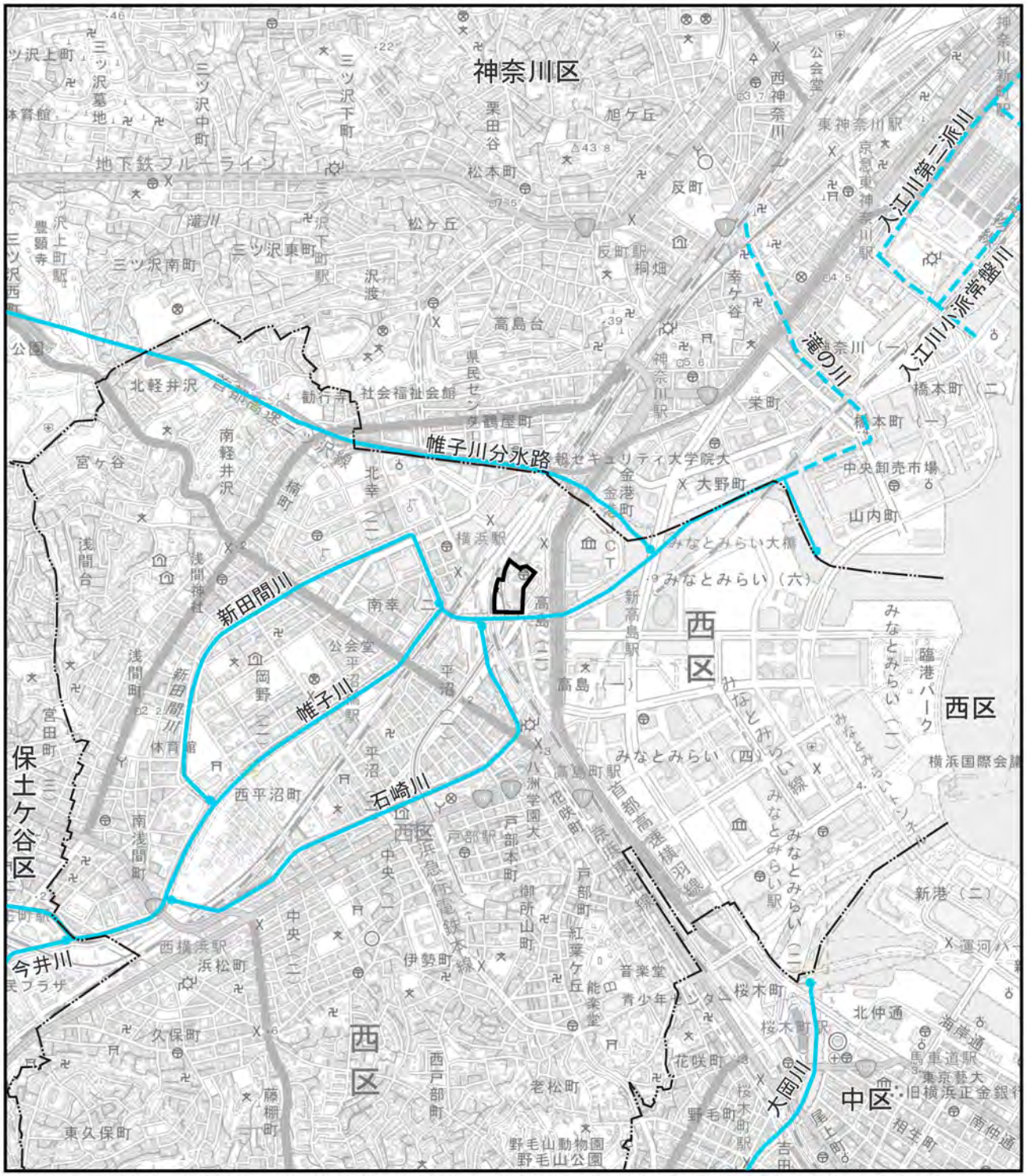
調査区域における主な河川の状況は、表2.2-2及び図2.2-8に示すとおりです。

計画区域南側には近接して二級河川の帷子川が流れています。また、計画区域西側には二級河川の新田間川、南西側には石崎川が流れており、北西側から東側にかけては、二級河川の帷子川分水路が流れています。

**表2.2-2　河川の状況**

| 河川区分 | 水系名 | 河川名 | 延長（m） |
|---|---|---|---|
| 二級河川 | 帷子川 | 帷子川 | 17,340 |
| | | 新田間川 | 2,200 |
| | | 石崎川 | 1,600 |
| | | 今井川 | 5,590 |
| | | 帷子川分水路 | 6,610 |
| | 大岡川 | 大岡川 | 10,540 |
| 準用河川 | 滝の川 | 滝の川 | 1,160 |
| | 入江川 | 入江川第二派川 | 2,400 |
| | | 入江川小派常盤川 | 620 |

資料：「横浜市を流れる河川一覧」（令和６年 12 月調べ、横浜市下水道河川局ホームページ）




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- 二級河川
- 準用河川

資料：「横浜市を流れる河川一覧」（令和６年12月調べ、横浜市下水道河川局ホームページ）

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

図2.2-8　河川図

### 2.2.4　植物・動物の状況

#### (1)　植物

##### ①　現存植生

調査区域における現存植生は、図2.2-9に示すとおりです。

計画区域周辺の現存植生は、ほとんどが市街地となっています。

計画区域南側約1.1kmに位置する掃部山公園周辺にオニシバリ-コナラ群集、南側約1.5kmに位置する野毛山公園にクスノキ植林が見られます。計画区域北東側約1.0kmに位置する神奈川公園周辺には、オオシマザクラ植林が見られます。

調査区域には、「神奈川県レッドデータブック2022植物編」（令和４年３月、神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課）に記載された、「絶滅のおそれのある地域個体群」に該当する個体群はありません。また、「自然環境保全基礎調査」（環境省）により選定された「特定植物群落」の分布は見られません。

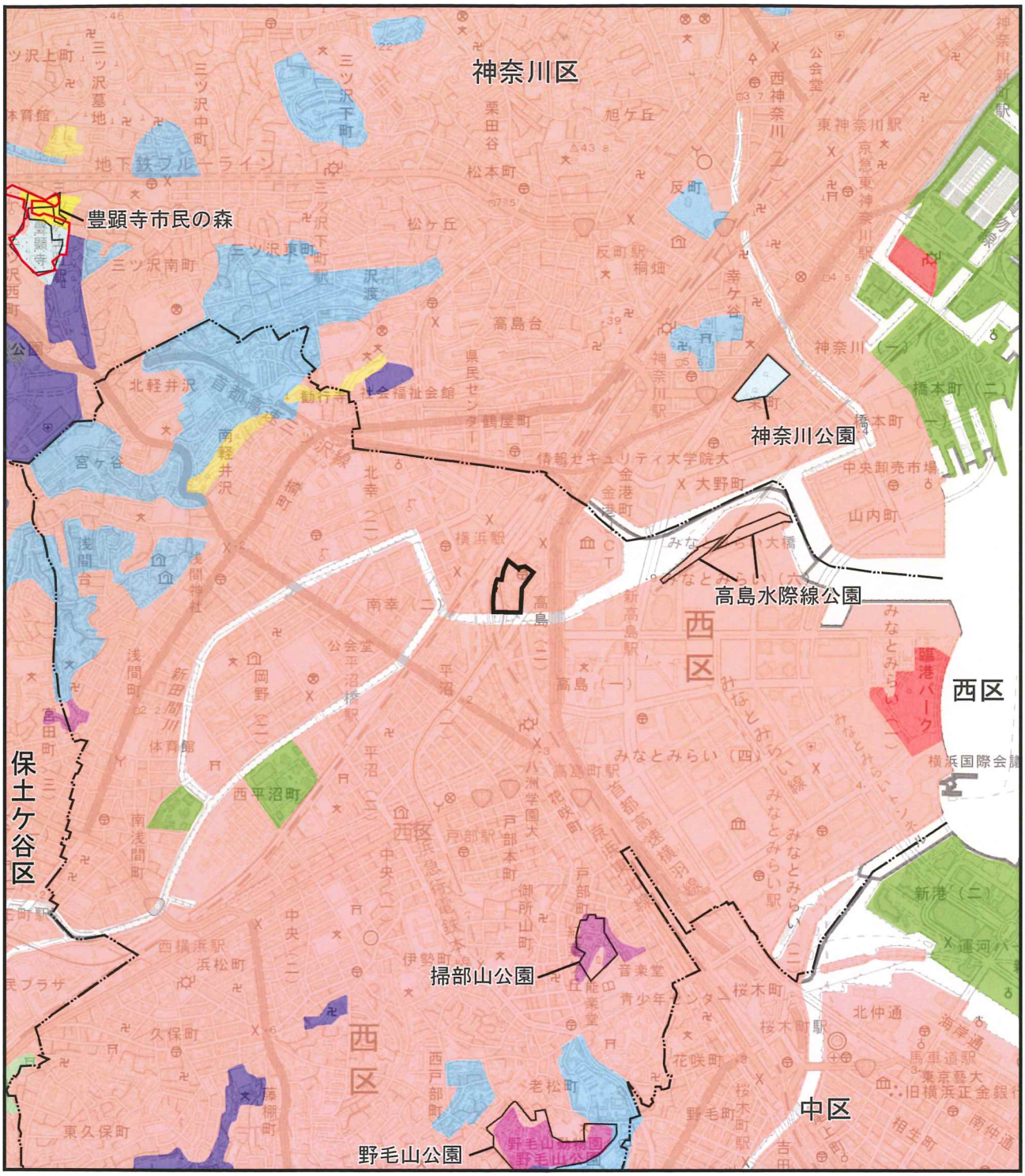
調査区域には、「森林法」（昭和26年法律第249号）に基づく地域森林計画対象民有林が計画区域北西側約1.9kmに位置する豊顕寺市民の森周辺に見られ、「都市緑地法」（昭和48年法律第72号）に基づく特別緑地保全地区及び「首都圏近郊緑地保全法」（昭和41年法律第101号）に基づく近郊緑地特別保全地区等の重要な樹林は見られません。

「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」（平成28年３月、一般社団法人横浜みなとみらい21）によると、計画区域南東側に位置するみなとみらい21地区には、ケヤキ、エノキ、ヤマモモ、クスノキ、タブノキ等の高木が多く植栽されています。また、計画区域東側約500ｍに位置する高島水際線公園周辺では、ヤハズノエンドウ、シロツメクサ、ビロードモウズイカといった草地環境に典型的な植物がまとまって生育しています。

##### ②　潜在自然植生

調査区域における潜在自然植生は、図2.2-10に示すとおりです。

計画区域及びその周辺の潜在自然植生としては、イノデ-タブ群集・典型亜群集が成立するとされています。




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- 市街地
- 緑の多い住宅地
- 工場地帯
- ゴルフ場・芝地
- 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- シラカシ群集
- イノデ－タブノキ群集
- オニシバリ－コナラ群集
- クスノキ植林
- オオシマザクラ植林
- アカメガシワ－カラスザンショウ群落
- その他植林
- 地域森林計画対象民有林

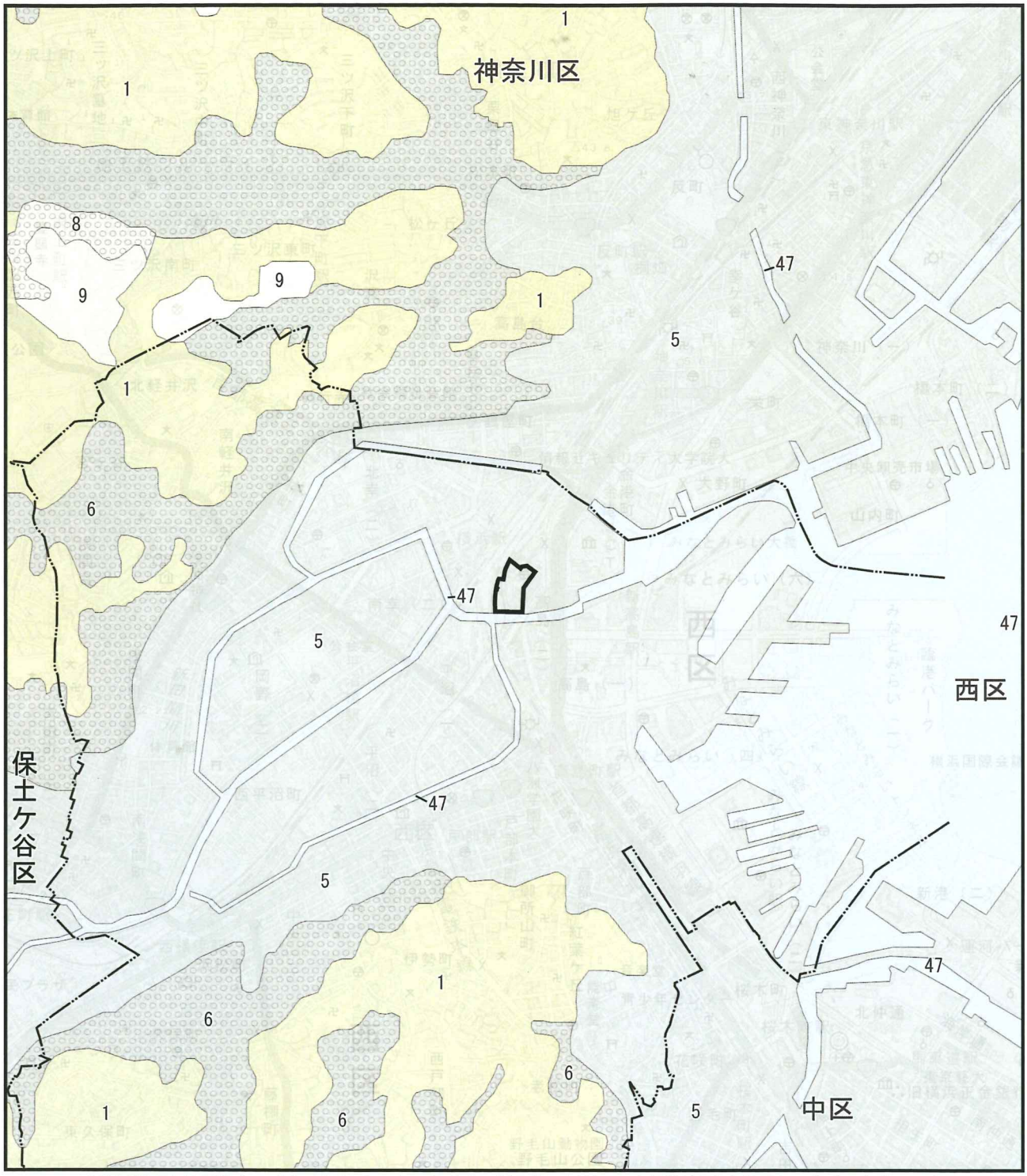
N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

資料：「自然環境調査Web-GIS」（令和６年12月調べ、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）
「地域森林計画対象民有林位置図」（令和６年12月調べ、神奈川県ホームページ）

図2.2-9　現存植生図




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- 1 ヤブコウジ－スダジイ群集・典型亜群集
- 5 イノデータブ群集・典型亜群集
- 6 イノデータブ群集・ケヤキ亜群集
- 8 シラカシ群集・ケヤキ亜群集
- 9 シラカシ群集・典型亜群集
- 47 開放水域

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

資料：「神奈川県潜在自然植生図」（昭和50年、神奈川県教育委員会）

図2.2-10　潜在自然植生図

### ③ 巨樹巨木、名木古木及び景観重要樹木

調査区域における巨樹巨木、名木古木の分布状況は表2.2-3、表2.2-4及び図2.2-11に示すとおりです。

調査区域には、「第４回自然環境保全基礎調査　日本の巨樹・巨木林（関東版Ⅱ）」（平成３年５月、環境庁）及び「第６回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」（平成13年３月、環境省自然環境局生物多様性センター）に記載された巨樹巨木が６件、横浜市の名木古木保存事業における名木古木が34件存在しています。また、調査区域には「景観法」（平成16年法律第110号）に基づく景観重要樹木はありません。

**表2.2-3　巨樹巨木一覧表**

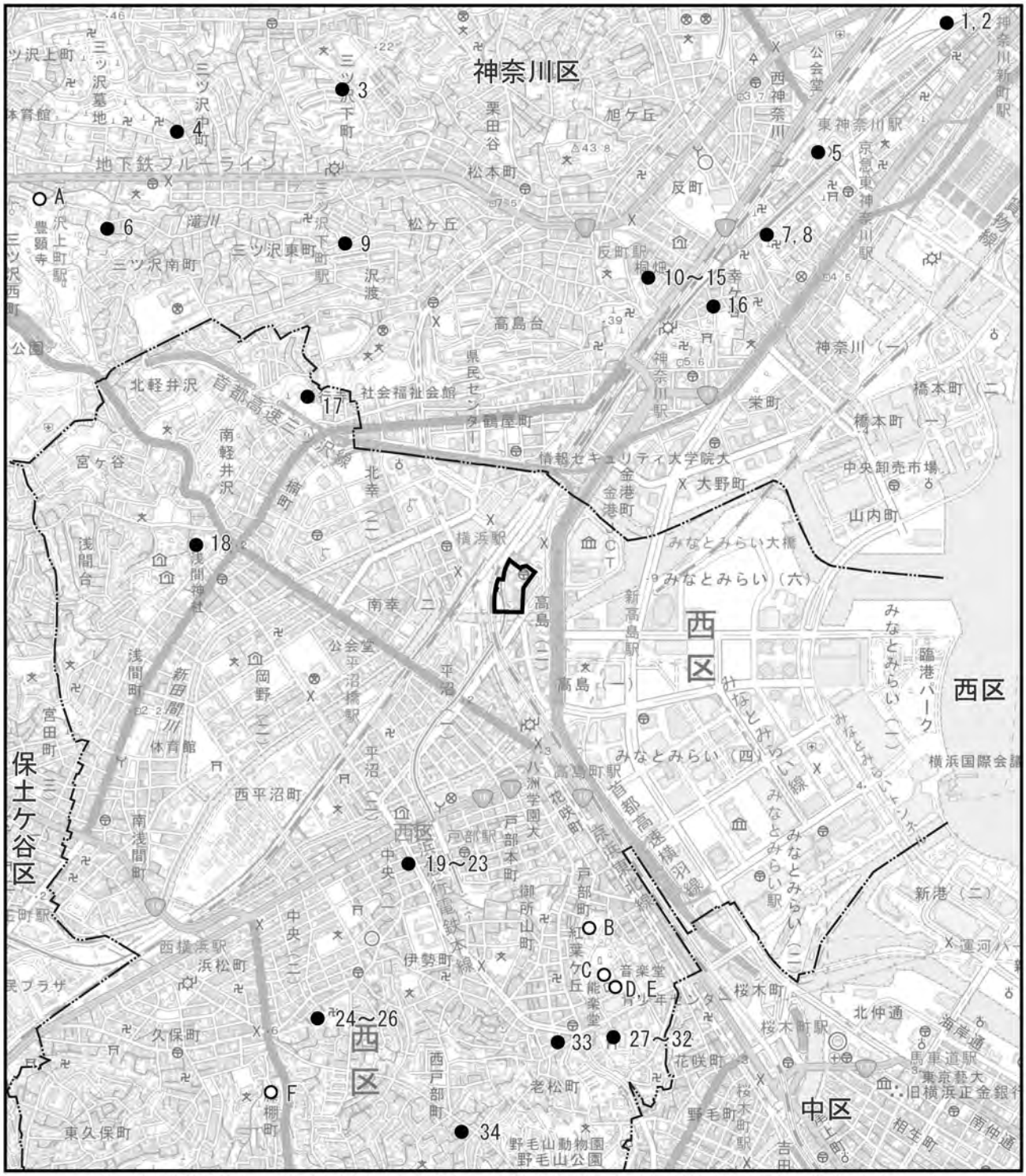
| 行政区分 | No. | 所在地 | 樹種 | 樹高（m） | 樹周（cm） | 自然環境保全基礎調査 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川区 | A | 三ツ沢上町 | イチョウ | 25 | 440 | 第4、6回 |
| 西区 | B | 紅葉ケ丘 | ケヤキ | 20 | 329 | 第6回 |
| | C | 紅葉ケ丘 | クスノキ | 15 | 305 | 第6回 |
| | D | 紅葉ケ丘 | クスノキ | 15 | 323 | 第6回 |
| | E | 紅葉ケ丘 | クスノキ | 10 | 362 | 第6回 |
| | F | 藤棚町 | ヌマスギ | 18 | 310 | 第4、6回 |

注）表中の No.は図 2.2-11 に対応します。
資料：「自然環境調査 Web-GIS」
（令和６年 12 月調べ、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）

表2.2-4　名木古木一覧表

| 行政区分 | No. | 所在地 | 樹種 | 樹齢 | 樹高 | 目通周 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川区 | 1 | 東神奈川二丁目9-1 | クスノキ | 110 | 20.0 | 3.6 |
| | 2 | 東神奈川二丁目9-1 | イチョウ | 110 | 18.0 | 2.8 |
| | 3 | 三ツ沢下町21-7 | ヌマスギ | 130 | 21.0 | 2.5 |
| | 4 | 三ツ沢中町11-9 | クスノキ | 130 | 20.0 | 4.15 |
| | 5 | 東神奈川一丁目1-2 | イチョウ | 350 | 20.0 | 3.96 |
| | 6 | 三ツ沢西町16-1 | イチョウ | 640 | 23.0 | 4.6 |
| | 7 | 幸ケ谷10-6 | イチョウ | 240 | 19.5 | 3.8 |
| | 8 | 幸ケ谷10-6 | ケヤキ | 240 | 13.8 | 2.8 |
| | 9 | 松ケ丘77-3 | クスノキ | 100 | 16.0 | 3.8 |
| | 10 | 高島台1-2 | イチョウ | 190 | 14.6 | 3.1 |
| | 11 | 高島台1-2 | イチョウ | 190 | 16.6 | 3.2 |
| | 12 | 高島台1-2 | スダジイ | 240 | 10.9 | 2.9 |
| | 13 | 高島台1-2 | ケヤキ | 380 | 17.8 | 2.7 |
| | 14 | 高島台1-2 | エノキ | 180 | 14.4 | 2.1 |
| | 15 | 高島台1-2 | タブノキ | 280 | 8.8 | 2.5 |
| | 16 | 青木町3-10 | イチョウ | 290 | 12.0 | 3.2 |
| 西区 | 17 | 南軽井沢町9 | イチョウ | 480 | 16.0 | 3.3 |
| | 18 | 浅間町一丁目19-10 | イチョウ | 100 | 25.0 | 2.81 |
| | 19 | 中央一丁目13-1 | ケヤキ | 140 | 20.0 | 2.8 |
| | 20 | 中央一丁目13-1 | イチョウ | 140 | 20.0 | 3.0 |
| | 21 | 中央一丁目13-1 | イチョウ | 140 | 20.0 | 2.4 |
| | 22 | 中央一丁目13-1 | イチョウ | 140 | 25.0 | 3.1 |
| | 23 | 中央一丁目13-1 | イチョウ | 140 | 25.0 | 3.5 |
| | 24 | 西戸部町三丁目290 | イチョウ | 不明 | 18.0 | 2.8 |
| | 25 | 西戸部町三丁目290 | タイサンボク | 不明 | 15.0 | 3.2 |
| | 26 | 西戸部町三丁目290 | イチョウ | 410 | 20.0 | 3.9 |
| | 27 | 宮崎町64 | クスノキ | 180 | 13.0 | 5.1 |
| | 28 | 宮崎町64 | ソメイヨシノ | 100 | 9.0 | 2.9 |
| | 29 | 宮崎町64 | スダジイ | 100 | 11.0 | 2.0 |
| | 30 | 宮崎町64 | クスノキ | 180 | 19.0 | 3.7 |
| | 31 | 宮崎町64 | タブノキ | 100 | 13.0 | 2.2 |
| | 32 | 宮崎町64 | イチョウ | 150 | 23.5 | 2.4 |
| | 33 | 老松町30 | トウカエデ | 70 | 10.0 | 2.77 |
| | 34 | 西戸部町一丁目103 | イチョウ | 150 | 20.5 | 2.8 |

注1)表中のNo.は図2.2-11に対応します。
注2)調査区域の名木古木に群指定の記載があるものはありません。
資料：「名木古木に指定されている樹木一覧」（令和６年 12 月調べ、横浜市みどり環境局ホームページ）




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- ○ 巨樹巨木
- ● 名木古木（横浜市指定）

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

資料：「自然環境調査Web-GIS」（令和６年12月調べ、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）
「名木古木に指定されている樹木一覧」（令和６年12月調べ、横浜市みどり環境局ホームページ）

図2.2-11　巨樹巨木等位置図

### (2) 動物

調査区域では、計画区域南東側約700ｍに位置するグランモール公園（図2.2-12参照）にて横浜市環境科学研究所による鳥類・昆虫類（トンボ・チョウ）調査が行われており「グランモール公園における鳥類・昆虫類調査結果について（第３報）」（令和２年３月、横浜市環境科学研究所）としてまとめられています。都市的な環境下にあるグランモール公園にて過去３回行われた調査で確認された種は表2.2-5に示すとおり、鳥類で７目15科21種、昆虫類で２目７科22種です。

また、みなとみらい21地区においても生物調査が行われており「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」（平成28年３月、一般社団法人横浜みなとみらい21）としてまとめられています。みなとみらい21地区で確認された種は表2.2-6に示すとおり、ほ乳類で１種、鳥類で50種、は虫類で３種、昆虫類で105種です。

調査区域で確認された種について、表2.2-7に示す選定基準により、注目すべき動物種の選定を行った結果、表2.2-8に示す、10種が確認されました。

また、鳥獣保護区の状況は表2.2-9及び図2.2-12に示すとおりです。調査区域では、計画区域北西側約1.9kmに位置する「豊顕寺市民の森」が鳥獣保護区に指定されています。

表2.2-5　グランモール公園における確認種

| 分類 | 目名 | 科名 | 種名 | 平成 26 年度 | 平成 28 年度 | 平成 30 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 鳥類 | カツオドリ目 | ウ科 | カワウ | | + | + |
| | カモ目 | カモ科 | カルガモ | | 1 | |
| | タカ目 | タカ科 | トビ | | + | + |
| | ハヤブサ目 | ハヤブサ科 | ハヤブサ | | + | + |
| | | | チョウゲンボウ | | + | (+) |
| | チドリ目 | カモメ科 | ユリカモメ | | 14 | + |
| | | | セグロカモメ | | + | + |
| | ハト目 | ハト科 | ドバト（カワラバト） | 77 | 87 | 75 |
| | | | キジバト | 2 | 2 | 2 |
| | スズメ目 | セキレイ科 | ハクセキレイ | 4 | 9 | 6 |
| | | ヒヨドリ科 | ヒヨドリ | 69 | 6 | 9 |
| | | ヒタキ科 | イソヒヨドリ | + | 1 | (+) |
| | | | ツグミ | 2 | 1 | |
| | | シジュウカラ科 | シジュウカラ | | 3 | 8 |
| | | メジロ科 | メジロ | 6 | 6 | 5 |
| | | アトリ科 | カワラヒワ | 2 | 1 | 6 |
| | | スズメ科 | スズメ | 36 | 50 | 34 |
| | | ムクドリ科 | ムクドリ | 17 | 12 | 2 |
| | | カラス科 | オナガ | 3 | 1 | + |
| | | | ハシボソガラス | + | 9 | 4 |
| | | | ハシブトガラス | 4 | 3 | + |
| 昆虫類 | トンボ目 | ヤンマ科 | ギンヤンマ | + | | + |
| | | トンボ科 | シオカラトンボ | 2 | + | 4 |
| | | | ウスバキトンボ | 11 | + | 1 |
| | | | コシアキトンボ | 1 | | |
| | | | コノシメトンボ | 9 | | |
| | | | アキアカネ | 3 | 18 | 15 |
| | | | ネキトンボ | 2 | | |
| | チョウ目 | セセリチョウ科 | イチモンジセセリ | 4 | 2 | 20 |
| | | | チャバネセセリ | 1 | | 1 |
| | | シジミチョウ科 | ウラギンシジミ | + | | |
| | | | ルリシジミ | | + | |
| | | | ウラナミシジミ | | 1 | |
| | | | ヤマトシジミ | 7 | 5 | 5 |
| | | タテハチョウ科 | ツマグロヒョウモン | | 1 | |
| | | | アカボシゴマダラ | + | | |
| | | | ルリタテハ | | + | |
| | | アゲハチョウ科 | アオスジアゲハ | 9 | 5 | 8 |
| | | | クロアゲハ | | 1 | |
| | | | アゲハ | + | + | |
| | | シロチョウ科 | モンキチョウ | | + | |
| | | | キタキチョウ | 2 | | |
| | | | モンシロチョウ | 1 | 1 | 2 |

注1)センサス調査時に確認された個体数を数値、センサス調査時間外に確認されたものを「+」、調査日以外に確認されたものを「(+)」で示しています。

注2)目名、科名及び種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和６年度生物リスト」（令和６年12月調べ、国土技術政策総合研究所ホームページ）に基づいています。そのため、カワウ、ハヤブサ、チョウゲンボウの目名、イソヒヨドリ、ツグミ、スズメの科名及びアゲハの種名は出典資料の記載名と異なっています。

資料：「グランモール公園における鳥類・昆虫類調査結果について（第３報）」
（令和２年３月、横浜市環境科学研究所）

表2.2-6　みなとみらい21地区における確認種

| 分類 | 確認種数 | 種名 |
|---|---|---|
| ほ乳類 | 1種 | － |
| 鳥類 | 50種 | ヒヨドリ、トビ、ツグミ、ジョウビタキ、ホオジロ、タヒバリ、メジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ホシハジロ、オナガガモ、カルガモ、ウミネコ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、オオバン、カワウ、イソシギ、コサギ、アオサギ、コチドリ、ツバメ、カワラヒワ、ミサゴ、ハヤブサ、コアジサシ、ヒバリ、モズ、チョウゲンボウ、イソヒヨドリ、キジバト、シジュウカラ、ハシブトガラス、スズメ、ハクセキレイ、ムクドリ、オナガ |
| は虫類 | 3種 | － |
| 昆虫類 | 105種 | アオスジアゲハ、クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、アブラゼミ、シオカラトンボ、トノサマバッタ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、イボバッタ、ツチイナゴ、ナナホシテントウ、ナミテントウ、キタテハ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ツバメシジミ、モンシロチョウ、アゲハ、セイヨウミツバチ、キムネクマバチ、ヒゲナガハナバチ、セグロアシナガバチ、フタモンアシナガバチ、イチモンジセセリ |

注）確認種数については調査において確認されたと記載されている種数、種名については出典資料内で確認できるものを記載しています。

資料：「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」（平成 28 年３月、一般社団法人横浜みなとみらい 21）

表2.2-7　注目すべき動物種の選定基準

| 文献名 | | カテゴリー | 記号 |
|---|---|---|---|
| 1 | 文化財保護法<br>（昭和 25 年法律第 214 号） | 国指定特別天然記念物 | 特天 |
| | | 国指定天然記念物 | 国天 |
| | | 都道府県及び市町村が条例により指定する天然記念物 | 条天 |
| 2 | 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律<br>（平成 4 年法律第 75 号） | 国際希少野生動植物種 | 国際 |
| | | 国内希少野生動植物種 | 国内 |
| | | 緊急指定種 | 緊急 |
| 3 | 環境省レッドリスト 2020 | 絶滅 | EX |
| | | 野生絶滅 | EW |
| | | 絶滅危惧Ⅰ類 | CR+EN |
| | | 絶滅危惧ⅠA 類 | CR |
| | | 絶滅危惧ⅠB 類 | EN |
| | | 絶滅危惧Ⅱ類 | VU |
| | | 準絶滅危惧 | NT |
| | | 情報不足 | DD |
| | | 絶滅のおそれのある地域個体群 | LP |
| 4 | 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 | 絶滅 | EX |
| | | 野生絶滅 | EW |
| | | 絶滅危惧Ⅰ類 | CR+EN |
| | | 絶滅危惧ⅠA 類 | CR |
| | | 絶滅危惧ⅠB 類 | EN |
| | | 絶滅危惧Ⅱ類 | VU |
| | | 準絶滅危惧 | NT |
| | | 減少種 | 減少 |
| | | 希少種 | 希少 |
| | | 要注意種 | 要注 |
| | | 注目種 | 注目 |
| | | 情報不足 | DD |
| | | 不明種 | 不明 |
| | | 絶滅のおそれのある地域個体群 | LP |

資料：「文化財保護法」（昭和 25 年５月、法律第 214 号）
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成４年６月、法律第 75 号）
「環境省レッドリスト 2020」（令和２年３月、環境省自然環境局）
「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」
（平成 18 年７月、神奈川県立生命の星・地球博物館）

表2.2-8　確認された注目すべき動物種

| 目名 | 科名 | 種名 | 選定基準 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| タカ | ミサゴ | ミサゴ | | | NT | 繁殖期・VU、非繁殖期・NT |
| チドリ | シギ | イソシギ | | | | 繁殖期・希少、非繁殖期・注目 |
| | カモメ | オオセグロカモメ | | | NT | |
| | | コアジサシ | | | VU | 繁殖期・CR+EN |
| | チドリ | コチドリ | | | | 繁殖期・注目 |
| スズメ | ツバメ | ツバメ | | | | 繁殖期・減少 |
| | モズ | モズ | | | | 繁殖期・減少 |
| | アトリ | カワラヒワ | | | | 繁殖期・減少 |
| | ヒバリ | ヒバリ | | | | 繁殖期・減少 |
| ハヤブサ | ハヤブサ | ハヤブサ | | 国内 | VU | 繁殖期・CR+EN、非繁殖期・希少 |

注1)目名及び科名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　令和６年度生物リスト」（令和６年12月調べ、国土技術政策総合研究所ホームページ）に基づいています。
注2)表中の選定基準は表2.2-7の記号に対応します。
資料：「文化財保護法」（昭和 25 年５月、法律第 214 号）
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成４年６月、法律第 75 号）
「環境省レッドリスト 2020」（令和２年３月、環境省自然環境局）
「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」
（平成 18 年７月、神奈川県立生命の星・地球博物館）

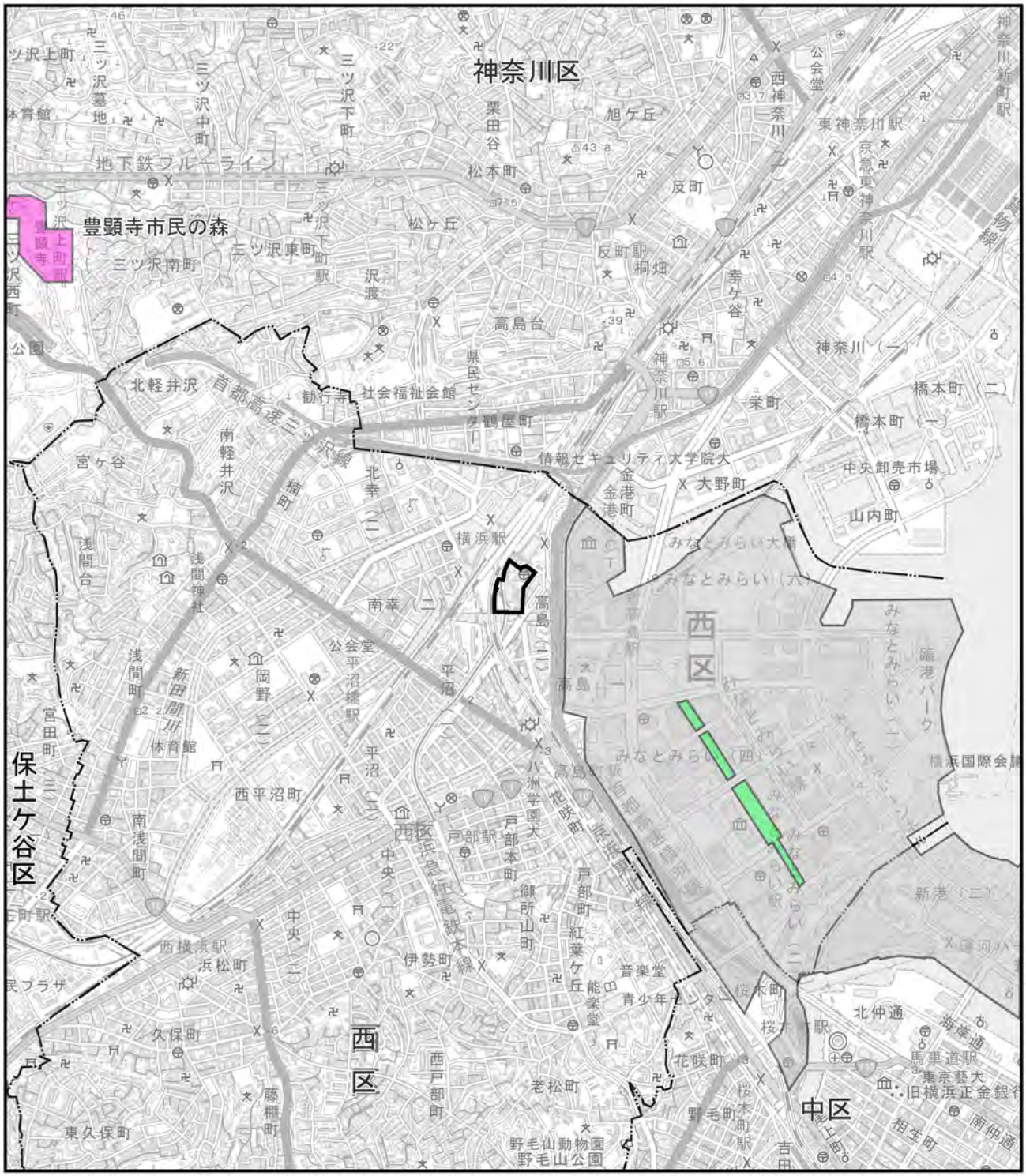
表2.2-9　鳥獣保護区の状況

| 行政区分 | 名称 | 面積 (ha) | 種類 |
|---|---|---|---|
| 神奈川区 | 豊顕寺市民の森 | 2.3 | 身近な鳥獣生息地 |

資料：「鳥獣保護区、鳥獣保護区特別保護地区一覧」
（令和６年 12 月調べ、神奈川県環境農政局ホームページ）

### (3)　農地

「横浜の都市農業マップ＆データ」（平成30年12月、横浜市環境創造局）によると、調査区域に農地はありません。




この地図は国土地理院ウェブサイト（令和６年８月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡　例

- 計画区域
- 区界
- グランモール公園調査地域
- みなとみらい21地区調査地域
- 鳥獣保護区

N

S＝1／20,000

0　200　400　600m

資料：「グランモール公園における鳥類・昆虫類調査結果について（第３報）」
（令和２年３月、横浜市環境科学研究所）
「令和６年度鳥獣保護区等位置図」（令和６年12月調べ、神奈川県環境農政局ホームページ）
「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」（平成28年３月、一般社団法人横浜みなとみらい21）

図2.2-12　鳥類・昆虫類調査及び鳥獣保護区位置図

### 2.2.5　人口、産業の状況

#### (1)　人口

調査対象地域における人口等の状況は、表2.2-10及び表2.2-11に示すとおりです。

令和６年の横浜市の総人口は約377万人、１世帯当りの人口は2.07人、人口密度は8,605人/$km^2$となっています。

調査対象地域のうち、神奈川区、西区、南区及び保土ケ谷区では人口密度が横浜市全域に比べて高く、１世帯当りの人員は５区とも横浜市全域よりやや少なくなっています。

令和２～６年の人口等の推移について、横浜市では、世帯数は増加していますが、人口は減少傾向が見られます。調査対象地域５区の世帯数は横浜市全域と同様の傾向が見られ、人口は多少のばらつきがみられるものの、概ね横ばいから増加の傾向が見られます。

**表2.2-10　人口等の現況（令和６年）**

| 行政区分 | 面積 ($km^2$) | 世帯数 (戸) | 人口 (人) | １世帯当たり人員（人） | 人口密度 (人／$km^2$) |
|---|---|---|---|---|---|
| 横浜市 | 438.23 | 1,817,762 | 3,771,063 | 2.07 | 8,605 |
| 神奈川区 | 23.73 | 136,210 | 251,587 | 1.85 | 10,602 |
| 西区 | 7.03 | 60,116 | 107,155 | 1.78 | 15,243 |
| 中区 | 22.01 | 88,989 | 153,008 | 1.72 | 6,952 |
| 南区 | 12.65 | 109,350 | 199,485 | 1.82 | 15,770 |
| 保土ケ谷区 | 21.93 | 101,821 | 205,360 | 2.02 | 9,364 |

注1)令和６年10月１日時点
注2)■は、計画区域のある行政区分を示しています。
資料：「長期時系列データ（人口・世帯)」（令和６年12月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）

**表2.2-11　人口等の推移（令和２～６年）**

| 行政区分 | | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 横浜市 | 世帯数（戸） | 1,753,081 | 1,767,218 | 1,781,879 | 1,799,480 | 1,817,762 |
| | 人口（人） | 3,777,491 | 3,775,352 | 3,771,961 | 3,771,766 | 3,771,063 |
| 神奈川区 | 世帯数（戸） | 129,183 | 130,482 | 132,215 | 133,749 | 136,210 |
| | 人口（人） | 247,267 | 247,651 | 249,054 | 249,773 | 251,587 |
| 西区 | 世帯数（戸） | 57,054 | 57,407 | 58,279 | 59,228 | 60,116 |
| | 人口（人） | 104,935 | 104,778 | 105,588 | 106,417 | 107,155 |
| 中区 | 世帯数（戸） | 85,108 | 85,139 | 86,028 | 87,497 | 88,989 |
| | 人口（人） | 151,388 | 150,667 | 150,877 | 151,931 | 153,008 |
| 南区 | 世帯数（戸） | 103,719 | 104,576 | 105,755 | 107,869 | 109,350 |
| | 人口（人） | 198,157 | 197,761 | 197,672 | 198,934 | 199,485 |
| 保土ケ谷区 | 世帯数（戸） | 99,126 | 99,777 | 100,239 | 100,982 | 101,821 |
| | 人口（人） | 207,811 | 207,185 | 206,152 | 205,790 | 205,360 |

注1)令和６年10月１日時点
注2)■は、計画区域のある行政区分を示しています。
資料：「長期時系列データ（人口・世帯)」（令和６年12月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）

### (2) 産業

調査対象地域の産業大分類別事業所数及び従業者数は、表2.2-12に示すとおりです。

事業所数が最も多いのは、各区とも卸売業、小売業です。従業者数が最も多いのは、横浜市全域と神奈川区では卸売業、小売業ですが、西区、中区ではサービス業（他に分類されないもの）、南区、保土ケ谷区では医療、福祉です。

農業、工業、商業の状況は表2.2-13～表2.2-15に示すとおりです。調査対象地域は、横浜市の中では農業や工業の指標の比率が低く、商業の比率が比較的高い地域となっています。

**表2.2-12　産業大分類別事業所数及び従業者数（令和３年）**

| 分類 | | 横浜市 | 神奈川区 | 西区 | 中区 | 南区 | 保土ケ谷区 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全産業 | 事業所数 | 117,684 | 8,517 | 8,505 | 14,787 | 5,424 | 4,960 |
| | 従業者数（人） | 1,618,721 | 130,756 | 218,022 | 203,020 | 49,265 | 57,246 |
| 農業、林業 | 事業所数 | 176 | 9 | 4 | 4 | 2 | 4 |
| | 従業者数（人） | 1,641 | 54 | 25 | 36 | 16 | 10 |
| 漁業 | 事業所数 | － | － | － | － | － | － |
| | 従業者数（人） | － | － | － | － | － | － |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | 事業所数 | － | － | － | － | － | － |
| | 従業者数（人） | － | － | － | － | － | － |
| 建設業 | 事業所数 | 11,430 | 756 | 453 | 668 | 655 | 654 |
| | 従業者数（人） | 95,934 | 7,883 | 7,144 | 8,897 | 4,584 | 4,032 |
| 製造業 | 事業所数 | 6,013 | 279 | 194 | 252 | 261 | 211 |
| | 従業者数（人） | 124,462 | 8,998 | 7,715 | 3,768 | 1,874 | 3,211 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 事業所数 | 144 | 7 | 16 | 17 | 2 | 6 |
| | 従業者数（人） | 5,190 | 109 | 745 | 1,039 | 268 | 322 |
| 情報通信業 | 事業所数 | 2,570 | 239 | 347 | 485 | 74 | 101 |
| | 従業者数（人） | 73,329 | 9,457 | 28,013 | 11,825 | 292 | 1,291 |
| 運輸業、郵便業 | 事業所数 | 3,235 | 262 | 118 | 827 | 77 | 80 |
| | 従業者数（人） | 92,048 | 7,482 | 7,703 | 17,630 | 1,708 | 2,941 |
| 卸売業、小売業 | 事業所数 | 25,089 | 1,788 | 2,354 | 2,900 | 1,140 | 953 |
| | 従業者数（人） | 296,217 | 23,741 | 33,717 | 29,399 | 8,724 | 9,441 |
| 金融業、保険業 | 事業所数 | 1,701 | 147 | 248 | 348 | 50 | 54 |
| | 従業者数（人） | 32,813 | 2,852 | 9,133 | 7,502 | 396 | 1,087 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 事業所数 | 11,449 | 1,005 | 825 | 1,382 | 541 | 478 |
| | 従業者数（人） | 53,596 | 4,717 | 10,078 | 7,598 | 1,328 | 1,360 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 事業所数 | 7,563 | 602 | 671 | 1,697 | 278 | 268 |
| | 従業者数（人） | 84,545 | 6,447 | 18,935 | 11,819 | 1,296 | 1,559 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 事業所数 | 12,654 | 858 | 1,072 | 2,725 | 626 | 503 |
| | 従業者数（人） | 130,192 | 6,923 | 21,483 | 23,246 | 3,565 | 3,551 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 事業所数 | 8,800 | 578 | 598 | 886 | 482 | 429 |
| | 従業者数（人） | 55,477 | 3,390 | 5,806 | 7,774 | 1,827 | 2,408 |
| 教育、学習支援業 | 事業所数 | 5,282 | 364 | 278 | 351 | 208 | 215 |
| | 従業者数（人） | 97,046 | 8,117 | 5,286 | 5,479 | 3,173 | 6,508 |
| 医療、福祉 | 事業所数 | 13,472 | 882 | 562 | 988 | 668 | 711 |
| | 従業者数（人） | 257,839 | 16,541 | 10,673 | 14,754 | 13,176 | 13,885 |
| 複合サービス事業 | 事業所数 | 378 | 31 | 16 | 31 | 13 | 19 |
| | 従業者数（人） | 5,068 | 208 | 183 | 336 | 92 | 150 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 事業所数 | 7,396 | 689 | 736 | 1,127 | 336 | 256 |
| | 従業者数（人） | 169,126 | 22,294 | 50,289 | 29,414 | 5,632 | 3,739 |

注1)令和３年６月１日現在

注2)■は、計画区域のある行政区分を示しています。

資料：「横浜市統計書[web 版]」（令和６年 12 月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）

表2.2-13　農業の状況（令和２年）

| 行政区分 | 農家数（戸） | | | 経営耕地面積（a） |
|---|---|---|---|---|
| | 総数 | 販売農家 | 自給的農家 | 総面積 |
| 横浜市 | 3,056 | 1,770 | 1,286 | 152,739 |
| 神奈川区 | 148 | 118 | 30 | 11,593 |
| 西区 | － | － | － | X |
| 中区 | 1 | － | 1 | － |
| 南区 | 9 | 7 | 2 | X |
| 保土ケ谷区 | 106 | 74 | 32 | 6,069 |
| 合計 | 264(8.6%) | 199(11.2%) | 65(5.1%) | 17,662(11.6%) |

注1)令和２年２月１日時点
注2)X：該当数値はあるが、発表はさしひかえたもの
注3)合計欄の(%)は横浜市全体に対しての比率を表します。
注4)■は、計画区域のある行政区分を示しています。
資料：「横浜市統計書［web 版］」（令和６年 12 月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）

表2.2-14　工業の状況（令和５年）

| 行政区分 | 事業所数 | 従業者数（人） | 製造品出荷額等（百万円） | 付加価値額（百万円） |
|---|---|---|---|---|
| 横浜市 | 3,315 | 91,029 | 4,295,672 | 830,200 |
| 神奈川区 | 121 | 5,141 | 281,976 | 50,784 |
| 西区 | 80 | 1,163 | 22,964 | 11,283 |
| 中区 | 110 | 1,439 | 73,663 | 18,749 |
| 南区 | 129 | 922 | 13,908 | 6,070 |
| 保土ケ谷区 | 108 | 1,746 | 33,870 | 14,370 |
| 合計 | 548(16.5%) | 10,411(11.4%) | 426,381(9.9%) | 101,256(12.2%) |

注1)令和５年６月１日時点
注2)合計欄の(%)は横浜市全体に対しての比率を表します。
注3)■は、計画区域のある行政区分を示しています。
資料：「横浜市統計書［web 版］」（令和６年 12 月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）

表2.2-15　商業の状況（令和２年、令和３年[注1)]）

| 行政区分 | 事業所数 | 従業者数（人） | 年間商品販売額（百万円） | 売場面積（$m^2$） |
|---|---|---|---|---|
| 横浜市 | 19,245 | 237,013 | 10,721,961 | 2,756,841 |
| 神奈川区 | 1,356 | 18,454 | 1,410,855 | 96,018 |
| 西区 | 1,870 | 27,200 | 1,615,205 | 373,361 |
| 中区 | 2,086 | 19,050 | 1,101,802 | 189,296 |
| 南区 | 853 | 7,088 | 162,578 | 67,652 |
| 保土ケ谷区 | 746 | 7,470 | 294,979 | 60,836 |
| 合計 | 6,911(35.9%) | 79,262(33.4%) | 4,585,419(42.8%) | 787,163(28.6%) |

注1)年間商品販売額は令和２年１年間の数値、事業所数、従業者数及び売場面積は令和３年６月１日現在の数値です。
注2)小売業における売場面積を示します（個人営業の事業所は含みません）。
注3)合計欄の(%)は横浜市全体に対しての比率を表します。
注4)■は、計画区域のある行政区分を示しています。
資料：「横浜市統計書[web 版]」（令和６年 12 月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）